

梅 を 使 っ て 地 域 お こ し

活動の経緯

甲斐市牛句③集落は平成12年度より活動を開始した集落協定で、場所は旧敷島町牛句に位置する。

集落の代表である農事組合法人ゆうのう敷島は、平成2年に梅振興組合を設立し、荒廃した桑園に梅の植栽を進める「梅の里事業」を開始した。その後、平成12年に農事組合法人ゆうのう敷島として法人化したことに併せて、遊休農地解消をより効果的に進めるため、中山間地域等直接支払制度の取組を開始。

活動の概要

遊休農地解消の促進のため、梅の生産を集約することにより、農地を安定的に維持している。



協定農用地(梅)



梅の里ふれあい祭りでの農産物直

活動の成果、主な実績等

7割以上の協定農用地に利用権を設定し、梅の生産を集約することにより、農地を安定的に維持。

農事組合法人ゆうのう敷島は、梅ジャム・梅づけ・手作り味噌などの加工品の開発にも取り組み、梅ジャムなどを学校給食用として提供している他、直売所にて地元で取れた新鮮な野菜や果物、加工品を販売。

毎年5月に農事組合法人ゆうのう敷島が「梅の里ふれあい祭り」を開催し、野菜を販売する他、地域特産の甲州小梅の梅もぎ体験等を実施している。